

学生相談室からのおしゃべりタイム

～ 人生楽勝の智慧… 人間信頼 ～
第5号

沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学

2015年7月

夏休みは目前である。学生の皆さんは、早く試験を無事に終えて解放されたいと思っているだろう。夏休みは、アルバイト中心で過ごす人もいれば、気を抜いてゆったり過ごす人、旅行などで遊ぶ人、遊学にでる人等いろいろだろう。

しかし、人生という学校には夏休みはない。人は生きていくかぎり人間関係からは逃げられない。出会いがあり、葛藤があり、別れがあり、喜びがあり、苦しみもある。人は、ふりかかるさまざまなドラマによって嫌でも人間として鍛えられていく。すべてを引き受ける覚悟がある人にとって人生はそう難しいものではない。その時、最も大事なことは、人を信じ、自分を信じ、世界を信じることである。幼子が母親を信頼しきって、ゆったりと幸せであるように、私たちは周りを信じることで自発的に、かつ自然に生きることができる。世界を信じることができると、希望とやる気と好奇心がわき、可能性の扉が開かれてくる。そして、より確かなその人の居場所もできていく。

もし何かを学びたいと思うなら
他には何もいない
信頼を学ぶことだ
もしあなたがみじめならば
他に救いはなにもない
信頼を学ぶことだ
もしあなたが人生に何の意味も見出せず
虚無感を抱いているとしたら
他に救いはなにもない
信頼を学ぶことだ
信頼が意味を与えてくれる
なぜならば、信頼はあなたをして、
全体があなたに降臨することを可能にしてくれるからだ
(バグワン・シュリ・ラジニーン)

人は世界を信じることで世界に開かれた自己になれるのだ。信頼という言葉 키워ドにして人間関係を変えてみよう。自分が苦手と思う人でもその人を信頼して時を待ち、時をつくることができれば、関係は維持され発展していく。バイト先で難しい関係になったときに、職場に信頼できる人がいればやれることが見つけられる。恋人とうまくいかない時、彼や彼女を「信頼しているかしら」と考えると違う見方がでてくる。いまの時代は、人間信頼が揺らぎ、壊されやすいが、「信頼」という言葉と共に有意義な夏休みを実験&観察してみよう。人間としての学びが進むかもしれない。

(カウンセラー：浅野恵美子)